

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	ふたあいのぼの 乙	評価実施年月日	H19年 8月19日
評価実施構成員氏名	坂井 せとみ 藤倉 ともえ 片岡 真澄 力有 哲友雄 西嶋 直子		
記録者氏名	坂井 せとみ	記録年月日	H19年 8月23日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>事業所独自の理念はつくっていませんが、全事業所共通の理念を持ち、その内に掲示しています</p>		
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>スタッフ会議にて確認しながら実践に向け取り組んでいます</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>町内会に回覧板にてふみあいの稲田通信を発行し読んで頂いています。又、今年、原まつりや地域の方に呼びかけ参加して頂くなど少しでも理解して頂く様に取り組んでいます</p>	○	<p>2か月に1度、ホームページでの生活の様子を載せたふみあいの稲田通信を発行しています</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>散歩に出掛けた時挨拶立ち話している程度で気軽に立ち寄って頂くまでには至っていません</p>	○	<p>ふみあいの稲田通信にて当ホームページ、寄りやすくなる様に工夫して行きたいと思っております</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>町内会に加入、発表の投票に出掛けると地域活動に参加する様、努めています。</p>	○	<p>町内会行事などに積極的に参加していきたいと思っております</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>話し合う事はありませんが、実行には至っていません</p>	○	<p>地域の高齢者等に遊びに来て頂く様、声掛けする等と取り組んでいきます。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	定期的に自己評価を行い、外部評価の結果を基にし改善に取り組んでいます		
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ホールの現状・見学、回覧行事、防災訓練の結果、各月の行事の様子、事故報告の説明、地域の状況確認等によりよりよい施設づくりと意見交換し、サービス向上に生かせる様に取り組んでいます		ふたまた、稲田通信にてホールの紹介、何時でも気軽に立ち寄って頂けるよう呼び掛けています
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいます。	行事に応じて電話連絡、出向き相談など質の向上に努める様に取り組んでいます		
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	行事時に利用者家族に説明しています	○	学ぶ機会を持っていました
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている。	研修等に参加し学ぶ機会を持っていました 常に注意を払い防止に努めています	○	話し合う時間を多く持つよう努め、少しでも心に余裕を持つために5人様協力しています
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約書を事前に盛り目で読んでいただき、契約の際に疑問点を確認し、行なっています。解約の際は退居の状況に応じて次の住み処へ決定するまでの家族への支援を行っています	○	ご家族の不安、疑問、不納得の出来た事については相談して頂く様常に留意しています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者様から直接(水本)事カタク出来(範囲)で少しでも希望は添え(様)努力しています。</p>		<p>利用者様へ(ほど)よく聞き、その(端)に(相)応(い)対応(と)心(理)付けて(いま)す</p>
<p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>ご家族の来訪日時、又(4)票(に)た(じ)電(話)連絡(して)いま(す)。金銭(出納(内容))も(毎)月(報)告(して)いま(す)。</p>		
<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>苦情(相)談(意)の(担)当(者)を(掲)示(又)ご(家)族(か)ら(介)護(保)険(課)へ(各)各(問)い(合)わ(せ)る(対)応(して)いま(す)。</p>	○	<p>実行(した)事(は)何(でも)気(軽)に(知)ら(せ)て(原)来(出)事(業)は(改)善(して)行(く)様(に)取(り)か(て)行(き)たい(と)思(い)ま(す)。</p>
<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>本(社)上(り)ア(ン)ケ(ー)ト(に)よ(り)調(査)・又(ス)タ(フ)ス(会)議(の)場(で)意(見)や(提)案(を)も(と)り(合)わ(て)いま(す)。</p>	○	<p>ソフト(面)で(は)協(力)し(合)い(反)映(さ)せ(て)いま(す)が、ハード(面)は(上)目(に)相(応)し(な)か(ら)改(善)の(向)に(進)む(様)努(力)して(いま)す。</p>
<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>でき(る)に(よ)り(努)力(して)いま(す)が、ど(う)し(て)も(調)整(が)つ(か)ない(時)は(ご)御(家)族(の)方(に)相(談)し(でき)る(範)圍(を)ま(と)り(あ)つ(て)いま(す)。</p>		
<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>移(動)・退(職)を(最)小(限)に(抑)え(な)か(ら)移(動)し(て)来(た)職(員)を(所)属(実)習(生)が(来)訪(日)時(に)は(利)用(者)様(へ)人(員)に(紹)介(する)等(と)配(慮)して(いま)す。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	研修・講演会 区と段階に応じ出席しています	○	研修・講演に出席していますが、機会が ある色々な研修を受け得た物は 少しでも反映させたいと思います
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	ケル-70ホ-4 連絡協議会に入会し定期的に 交流勉強会などを行っています	○	
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	スタッフ会議や職員同士の親睦会などで話し合う 区と区から軽減しています		
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。	直接話をし、アンケート調査を行うなど区から 向上心をもって働き続けよう努めています		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	ご家族、本人から相談を受け、面談、見学区と行った 上で不安、困っている事、ホ-9に付しての希望区を 聴いています		
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	ご家族から相談を受け面談、見学して頂き 困っている事、不安、家族として、ホ-9に付して何を求 めているかと話し合っています	○	分かりやすく安心して頂くよう説明しています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>25 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ケル・アホー・ム等の他のサービス利用は受けられませんが、本人・家族の希望により費用にて相談させてもらっています。</p>		
<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>26 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>本人のライフスタイル・日常生活のリズムなどを把握し、お互い自己紹介を兼ねてし、雰囲気を作り徐々に馴染める様工夫、自己慮しています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>27 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>出来れば利用者様のペースに沿ってまず希望をまか態度を示し、本人を尊重し、やりかたに気をつけて行い、時には教えることも必要としています。又、お互い利用者様へ利用者様を支えあう関係を受け止める場面もあります。</p>		
<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>28 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>緊急時の対応も迅速なことで相談し対応して頂くこと、共に支えて行く関係作りにも努めています。又、外出時など一緒に参加していただけています。</p>		
<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>29 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	<p>家族の都合を聞きながら出来る範囲で関わらせて頂いています。</p>		
<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>30 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>友人知人の方から来られていたり、又、御家族の方にもきて頂きたいよう努めています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	ホーム内で利用者様一人ひとりが楽しみごちやあそびで 見守りやようき活動の支援をしております		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	契約の終了後も関わりがなくなってしまう 現状ですが、お世帯によりましては不便さ 下す方もいらっしゃいます		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その人らしい暮らしを尊重し、希望に加えよう配慮している 困難な場合はご家族と相談しながら本人本位に検討 をしております		
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人、ご家族、ケアマネ、老健、病院、担当者、ケアワーカー等 経過文書、口頭にて聞きながら職員一同、把握に努めて います		
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	起床時顔色などから体調な場合などに チェックするし総合的な状態の把握に努 めています。毎日のバイタルチェックを しております		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	計画作成者、家族、本人 関わっている全ての 職員で話し合いながら作成しております		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	期間に応じて見直し事項はすべて変化に応じて本人、ご家族、担当医に相談しながら現状に即した新しい計画を作成しています	○	現状を見ながら本人、家族、担当医に相談しながら見直しを実施しています
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子、変化を毎日必ずメモや書類に記録し、時言記については色別りの記録、連絡ノートにも記録を共有し、職員全員が把握、実践の様子を見ながら介護計画の見直しに活かしています		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	本人、ご家族の要望に応じて出来る限り柔軟に対応できるようにしています		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	今年は8月に才一回自の原まつりを実施 町内の方への参加もお願いしています 必要に応じて民生委員や警察、消防等と協力しながら支援しています。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。	必要に応じて対応させて頂いています		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	必要に応じて相談させて頂いています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>43 ○かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>かかりつけの看護職員 薬剤師の方々と日常管理や医療活用の相談をしながら支援しています</p>		
<p>44 ○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>ご本人や専門医受診を拒否される御家族の方と相談しながら対応させていただいてい2件-2もあります。専門医の受診を促すと共に状況の変化、気配り等と、その都度相談しながら支援しています</p>		
<p>45 ○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>医療機関と利用しながら状況に応じ日常の健康管理や医療活用の支援をしています</p>		
<p>46 ○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>医療関係者との情報交換、訪問面談などしながら受入体制を整え、 早期退院に向けての取り組みをしています</p>		
<p>47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>現状でご家族に相談確認しながら今後に向けての話し合いの場を持つようしています。職員全員で方針を共有しています</p>	○	<p>既に医療機関とも連携を定めていきたい</p>
<p>48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>ご家族 担当医と相談しながら出来し範囲を最大限に検討し日々より良く暮らせるため、又、今後に備えての準備をしています</p>	○	<p>ホーメで「できること」「できないこと」をさらにもう一歩見極め医療機関とも相談し支援、体制を検討していきたい</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めています</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>プライバシーを損ねるような声かけ、対応については十分気を付けています。又記録等については頭文字で記録するように徹底しています</p>		
<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>個々の能力に見合った選択の場を設け説明し、自分で決め納得し暮らせるよう支援しています</p>		
<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>出来る範囲で日々の希望を取り入れ希望に応じて支援しています</p>	○	<p>権利を持ち一人ひとりのペースを大切にしたい対応をしております</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>出張美容、身内の方が来る美容院など本人、ご家族の希望に応じて支援しています</p>		
<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>個々の能力に見合った力を活かして声掛けし一緒に行動しています</p>	○	<p>なるべく多くの利用者様に協力を促すよう努めています</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	できし範囲 可能な範囲にて 天気の良い日は ホールの回廊を散歩、通院等外にも出かけられる機会を 持つよう努めています		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	行事等を利用して空しでもいそよよに支援しています 又個別で何処か行きたい場所や場合ご家族に 相談 外出させています		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	プリンターに電話があり、いつでも電話の事か出来ます	○	遠慮 があり 外出出来ない方もいさしおのり 配慮 しています。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	ご家族や知人、友人の方など気軽に訪問され居室。 リビング 食堂などで 一緒に過ごさせています	○	毎々、ご家族や知人、友人の方など面会も盛ん です。そのため、通院など、ご家族の方の可能な 範囲 協力 ともに支えあっています。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	研修に参加するとし身体拘束をしないケアに取り組んで います。併せて場合ご家族に説明 同意もえらうえて 対応 させて いた っています		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中、鍵は掛かっています 自由 に入り できるように しています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	状況に応じ常時様子を把握しながら安全で快適に過ごせよう配慮しています	○	安全確保のため車椅子等に鈴等を利用して配慮する配慮しています
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	危険防止については職員間で自領より話し合い状況を見ながら必要に応じ対応しています	○	洗剤、包丁等一律になくすのではなく別保管に努めています
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	個々の状態に合わせた対応を話し合い状況を見ながら事故防止に取り組んでいます		行方不明に注意がゆきながらについては、着ている物の色特徴を写真で記録するなど取り組んでいます
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	1年に2度の火災避難訓練を行っています		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	避難訓練は年2回実施してありますから身に付けています		避難への進行させてもらっていいと思いますので通行人も協力して取り組んで行きたいと考えています
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	個々に起こり得るリスクについてはご家族に説明し相談しながら対応策を実施しています	○	ご家族との話し合い コミュニケーション等を大切にしています
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	顔色、浮腫、運動後等と併せて押握し、入浴着替 又は身体状況の確認の時間を確保して実施しています		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	目的・副作用については把握しています。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	繊維質、食品を努めて多く摂取し様に掛かっています 身体状況に合わせ、身体を動かす様声かけ一着の 行う様に掛かっています		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	起床、入浴時に行なっています。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養のバランス・水分量については状態や力に合わせ 個々に合った支援をしています		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症については日頃より話し合っています	○	インフルエンザ予防接種は毎年、利用者様・スタッフ 共に行っています。又外出から帰所時は手洗い 手洗いの消毒の徹底に取り組んでいます

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	うがい、手洗いの徹底、調理用具の消毒、食料の賞味期限には十分気を付けてすべての食材は新鮮なうちに使い切り様努めています	○	利用者様にも手洗いの徹底して頂きたいので、一緒に頑張ります
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	建て物の新築になっていなくても利用者様にとってもご家族の方にとっても安心安全に出入りできるように工夫しています		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	光・音に関しては十分配慮しながら、心地よく過ごせる工夫をしています		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	個室を、同じくお食事、リビング、YFP-ひとて思い思いに過ごせる工夫をしています		
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	相談・契約時に本人ご家族と話し合い使い慣れた物、本人が好むとされている物などを活かして居心地よく過ごせる様、配慮工夫をしています		
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の様子がないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	日常にふりて空気を入れ替えてしています。またリビングに空気清浄機を設置しています。(A/Cのほかに等々)		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	工夫していますが、十分にはできていません		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	各居室、入居には各棟を別としてあります		
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	よさな花をたくさん作りとして、プランター等に花や野菜を植えて楽しんでいると思います。 水やり等、お年寄り、職員と一緒にしています		

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ○ ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p style="text-align: center;">入浴の日のみで</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 毎日ある ○ ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ○ ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> ○ ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> ○ ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> ○ ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ○ ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての家族 ○ ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない

V. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input checked="" type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input checked="" type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input checked="" type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

高齢な利用者様が多いため、体を運ぶため、レクリエーションは車イスで移動して、手作業をしっかりと楽しんでいただいています。相違事、及び話し相手になら、事も心掛けています。食事づくりも利用者様のリクエストに、応えようとして、います。夜食、昼食も、文書で心掛けています。